

第9回 昭島市事務事業外部評価委員会

議 事 要 旨

〔日 時〕 平成 25 年 10 月 17 日（土）18：00～19：30

〔場 所〕 昭島市役所 庁議室

〔出席者〕

1 委員

佐久間榮昭委員長、和田篤彦副委員長、出雲明子委員、松本智子委員、村上龍男委員、山田諭子委員

2 事務局

早川企画部長、佐藤企画政策室長、板野財政課長、滝瀬財政係長、進藤企画調整担当主査、吉野企画調整担当主任

3 傍聴者 なし

〔配布資料〕

- ・ 第9回事務事業外部評価委員会 次第
- ・ 平成 25 年度事務事業外部評価報告書（案）
- ・ 平成 26 年度予算編成方針の概要

〔議事要旨〕

1 外部評価報告書（案）について

事務局から事務事業外部評価報告書（案）についての説明をした。

《質疑応答》

- ◆「はじめに」について、せっかくなので下から2行目の「評価の過程で対応いただいた事業担当者」のあとに「委員会の運営にご尽力いただいた事務局の方々」を追加したい。【佐久間委員長】
- ◆1行目の座間委員長はフルネームの方がよいのでは。【出雲委員】
- ◆事業番号1 総合オンブズパーソン事業から、事業番号 13 市民図書館管理まで、1項目ずつ確認を行っていく。記載内容の変更があればお申し出いただきたい。それでは事業番号1 総合オンブズパーソン事業及び、事業番号2 市民相談事業についてご確認いただきたい。【佐久間委員長】
- ◆続いて事業番号3 保健福祉総合システム管理についてご確認いただきたい。【佐久間委員長】
- ◆質問だが、事業説明シートは評価時のものと変わらないか。【出雲委員】
- 評価時のものと同じである。【事務局】
- ◆事業説明シートについて一般向けに読みやすくアレンジできるか。【出雲委員】
- ◆評価の際の資料なので変えるのは難しい。【佐久間委員長】

◆評価を受けてコメントを入れるのはどうか。【出雲委員】

○報告書の在り方については次年度に向けてのご提言ということで参考とさせていただきたい。【事務局】

◆続いて事業番号4 市民税賦課事務及び事業番号5 市税収納事務について。【佐久間委員長】

◆なければ事業番号6 シルバー人材センター補助事業について。【佐久間委員長】

◆事業番号7 健康診査事業について。【佐久間委員長】

◆続いて事業番号8 児童センター管理運営についてご意見を伺いたい。【佐久間委員長】

◆現状と今後の方向性に関する意見欄4行目後半の「今後2館目を建設する際には」を既存の施設の有効利用という含みを持たせる意味で「今後2館目を開設する際には」に変えていただきたい。【和田副委員長】

◆それでは建設を開設に変更する。続いて事業番号9 崖線緑地保全事業について。【佐久間委員長】

◆現状と今後の方向性に関する意見の2行目「伸展」とあるがこの漢字でよいのか。【出雲委員】

◆同じ行で必要性が2回出てくるので、どちらかを別の言葉に変えた方がよいと思う。【松本委員】

○事務局で確認し対応させていただく。【事務局】

◆崖線緑地保全事業の予算は23年度と24年度で大きく変わっており、以前の話の中で防衛省からの交付金に関しては市側に裁量があり、各事業への配分を行えるというような内容だったが、24年度はこの事業への配分がなく、樹木せん定など管理が主な事業になっていた。市として緑の保全に力を入れていくなれば、崖線の連続性保持を市の基本方針とするよう、委員会として望むというような意見を現状と今後の方向性に関する意見の中に入れていただきたい。【和田副委員長】

◆同じ個所の下から2行目「関係市町村だけではなく」とあるが「関係8市」で面的に国や都に働きかけると広報にも掲載されていたのでそういった内容に変えていただきたい。【松本委員】

○修正に関しては事務局で対応させていただく。【事務局】

◆事業番号10 鉄道駅自由通路等維持管理について。【佐久間委員長】

◆事業番号11・12 学校管理運営（小・中学校）について。【佐久間委員長】

◆事業番号13 市民図書館管理運営について。【佐久間委員長】

◆それではご確認いただいたということで、細かい修正点がある場合は10月24日（木）までに事務局に連絡していただきたい。【佐久間委員長】

2 外部評価全体を通して（今後の課題）

○評価を実施してお気づきの点や、次年度に向けての取組みなどについて、この機会にご意見をいただきたい。【事務局】

◆昨年は評価時間を1時間に設定していたが、時間内に収まらないことが多く、今回は1時間半に設定したため、スケジュール通りに進められたと思う。それでは各委員よりご意見をうかがう。【佐久間委員長】

◆事務事業評価に対する評価を実施する予定はあるのか。初年度から委員として評価に携わり、気になっている点である。【松本委員】

◆評価の際に使用したシートで必要性がどれくらいかなど個人的には評価を行った。【和田副委員長】

○次年度が本格実施3年目ということで、そういった取組も考えられる。それによって次の取組につな

げるということで前向きなご提言として受け止めさせていただきたい。【事務局】

◆公開性について、傍聴者が少なく、もう少しいろいろな方に来ていただき、いろいろなご意見、感想をいただきましたかった。委員として評価して終わりでなく、その後の取組みを含めて話し合う機会が欲しいと感じている。【村上委員】

◆市民に傍聴に来ていただきたいという気持ちはあるが、どこの自治体も現状は同じであると思う。傍聴に来なくても聞けるようにインターネットで中継する、ネット上で意見を伺う、会場を変えるなどの取組が考えられるが、一般的にネット関係は投じた労力の割には伸びない。傍聴者を増やす取組みについて、広報誌等で結果を知らせてみる等、手法を変えて行い、市民に見てもらうのも良いが、市民の参加や関心を高めるさらなる努力をすることと、評価の結果を事務事業や市政に反映することとでは、私はどちらかという評価結果を反映させる方が大事だと考えているので、参加を高める取組みは継続しつつも、結果の反映を優先させるべきだと思う。【出雲委員】

◆今回から評価に参加したが、自分が評価をしてよいのかという感じがした。予算を査定するという観点から改善や評価を行いがちで、人件費を削る、経費を節約する、外注費を安くさせるといった面ばかり目が行ってしまい、市民サービスの向上という観点からの評価を行うことが難しく、そこに反省点もある。また、傍聴の方が少ないせいか外部評価委員 6 人だけで評価を行うことを閉鎖的に感じた。事業に興味があるような関連団体の方を誘うなど、傍聴者を増やすことで、閉鎖的な感じがなくなればと思った。【山田委員】

◆説明員である職員の方々のガードが堅い。時間的制約もあるが、コスト面だけではなく、日々の取組み等、いろいろな話を伺いたい。コストの面からこちらが言及する前に、「こんな努力もしている」とアピールしていただければ、こちらから聞きやすいし、もっと建設的な委員会になると思う。【村上委員】

◆事業を選ぶ基準として、金額が大きいものが候補一覧に挙げられるが、それらは市の根幹を形成する事業であることが多く、評価が難しい。金額的には大きくないが外部評価に適する事業があると思う。額面で決めるということに違和感があり、評価事業の選定方法について検討の余地があると考えられる。

【松本委員】

◆先ほどから意見として挙げられている傍聴者の減少について、市政に対する関心の低さを表しているとも考えられるが、自分としては2つの原因が考えられる。1つ目、民主党政権時代の事業仕分けの市政版として外部評価が取りざたされたが、政権交代とともに関心が薄れてしまったということ。2つ目、議会、監査等、市の業務を評価する多くの機関があり、行政に対してのチェック機能がそれぞれ働いており、現市政の安定感からも、市民の関心度は低いということ。そういった原因から傍聴が少ないのであれば自分としてはそれでも構わないと考えている。そういう時だからこそ地道にきちんと評価し続け、市長に答申することが重要であると考えている。

もう一点、この会議の目的について、我々は市長から外部の目線で行政の事業を評価してほしいと委託され、それに対して答申する。市長は次年度予算に反映させていく。今回の報告書の中でも目的に言及しているが、市長への答申＝次年度予算への反映と同じくらい重要なことがある。職員の方々と直接意見交換を重ね、業務に対する市民目線を伝えることで、それが職員の意識変革につながる。業務のマンネリ化を避けるという意味でも、職員に市民目線を伝え意識改革につなげることも意義があると考えている。そういった目的からモチベーションを保ちながら会議に参加してきたつもりである。【和田副委員長】

◆財政が安定していたころはおそらく無駄が多かったと思われる。だが今の情勢では毎年毎年予算を切りつめてきている。そういった中でさらに市民目線から提言していくのだが、今回の報告をすぐに次年度予算に反映させるということは難しいと思われる。だが、委員会の評価を職員はどこかで覚えていて常に気にしていると思う。人事異動で職員が入れ替わっても財政課や事務局で引き継いでもらえると考えている。事業の中には政治的な絡みから惰性的に行われているものもあると思う。そういう部分についても、この委員会の議論の中で改廃につなげられればと考えている。いろいろな面から我々の発言というのは表に出て重みを持ってくる。そう考えてこれまで評価を行ってきた。ここまでにいろいろな意見が出たが事務局から何かあれば伺いたい。【佐久間委員長】

○ここまでにいろいろなご意見をいただいたが、これらのご意見は事務局でまとめさせていただきたい。
【事務局】

○以降、企画部長、財政課長より評価に対する御礼、意見、次年度予算編成に向けての抱負等が述べられた。

3 その他

◆審議に関しては今回で終了だが、市長への報告の日程に関しては事務局で調整し、各委員へ連絡していただきたい。以上で本日の審議を終了とする。ありがとうございました。【佐久間委員長】

～閉会～